

『学校力向上に関する総合実践事業』コーナー その2

北海道教育委員会の「学校力向上に関する総合実践事業」の指定を受け、子どもたちの学力・体力・生活力などに関する包括的な取組を行っています。今回は『各学年の学力向上』のための取組の工夫（朝学習・朝読書と放課後学習：チャレンジタイム）の紹介です。

1 朝学習について

朝の取組ですが、8：10～8：25の15分間に学習時間（1か月のうち第1・2週目は、読書の時間）を位置付けています。職員による朝の打合せを廃止し、朝学習に担当がしっかりとついて、個別の指導・フォローをすることを可能にしました。

朝学習で主に取り組ませている内容は、前学年までの漢字や計算です。日常の授業時間だけでは、なかなかしっかりと振り返ることのできない学習内容の定着度を確かめる貴重な時間となっています。特に、前学年までの漢字の「書き」については、忘れてしまっていることもあり、この時間に振り返らせることで漢字の定着を高めることをねらっています。また、「南小漢字コンクール」を6月と3月に全学年で実施し、前の学年、当該学年の漢字の定着を図ります。



2 朝読書について

本の楽しさを味わわせ読書習慣を確立することをねらいに行っている朝読書についても、担当が子どもと一緒に読書をすることで、以前よりも本と真剣に向き合い、集中して読書に親しんでいる子どもたちの姿が多く見られています。

3 チャレンジタイムについて

放課後学習を「チャレンジタイム」という名称にして、毎週水曜日の14：25～14：45の20分間に全学年の子どもたちが補充的な学習に取り組んでいます。（1週間で唯一の全学年5時間授業の日です。会議等も多い曜日なので短い時間ではありますが、子どもの理解度が十分ではない内容の繰り返し学習に取り組ませたり、発展的な内容（資料から読み取ったことを自分の言葉でまとめる等、活用力を伸ばす内容）に取り組ませたりしています。チャレンジタイムでは、担任外の先生方も各学年に入り、複数体制で指導・支援にあたっているところです。

『全ての子どもたちに基礎学力を保障する』ために、日課表を工夫して、子どもと向き合う時間を確保しながら取り組んでいます。各家庭におかれましても、この取組にご理解いただくとともに、家庭学習の取組・生活習慣の確立などへのご協力をよろしくお願いいたします。

また、昨年度の各学年の国語と算数の標準学力検査（CRT）：1月実施の結果を踏まえ、「各学年の学力向上プラン」を作成（下記参照）し、国語と算数における重点的な指導方法や到達目標を明確にして、何よりも一時間一時間の授業を大切にしたい実践に努めています。

6年 学力向上プランの例：一部抜粋

【算数】

①四則計算の学習を繰り返し行うことで、基礎基本の確実な定着を図る。また、朝学習や放課後学習を活用し、既習事項の復習にも取り組む。…（以下略）

【到達目標】

①漢字 5年生までの漢字を確実に読め、8割以上書くことができる。

②音読 読む速さや強弱をつけて読むなど、その場面に合った読み方ができる。…（以下略）